

I ま え が き

令和8年度予算のうち、歳入のうち、市税収入につきましては、個人市民税が所得の増等により増加するとともに、家屋の新增築などにより固定資産税が増加し、前年度と比べて224億円、5.5%増加するものと見込んでおります。

歳出においては、「総合計画第4期実施計画」の初年度として、近い将来見込まれる人口減少の影響を緩和し、それに適応しながら、持続可能で、選ばれ続ける都市を実現するため、「子ども・教育」、「健康・福祉」、「地域の魅力・価値」、「社会基盤・生活基盤」、「経済成長・社会課題解決」の5つの分野に重点的に予算を配分いたしました。

令和8年度予算につきましては、市税収入が堅調であることなどから、平成26年度以来12年ぶりに、当初予算段階で減債基金からの新規借入を行うことなく、予算を編成いたしました。令和9年度以降は、投資的経費が増加することが見込まれますが、「総合計画第4期実施計画」に掲げる施策の着実な実現に向け、「行財政改革第4期プログラム」の取組を計画的に進めることで、中長期的な視点に立った持続可能な行財政運営に、引き続き緊張感を持って取り組んでまいります。

令和8年度予算及び令和7年度予算執行のあらましなどは、以下のとおりです。